

## ワンさんと私

## —静かでサッカーが好きな人—

## 1. 第一印象

私はうちのグループのメンバー、マレーシア出身のワンさんを初めて見たとき、口ひげがとても印象的だと思った。彼が持っているアイフォンのケースはアニメのワンピースだったから、「ワンピースが好きそうだな」とも思った。グループの散歩へ行ったとき、千秋公園の自然や屋形を静かに楽しんでいるようだった。特に、屋形の写真を撮るのを見て、「自然とか日本の文化にも関心が結構ありそうだな」と思った。彼はムスリムなので、豚肉やお酒などはだめだと言った。それを聞いて、「ムスリムだからいろいろ大変だね、一緒に食事するときも気をつけないといけないね」と思った。先週、散歩の結果物を作るときも、コメントに何を書くか悩んでいるような姿とか、グループのメンバーみんな絵を描きながら飾るときも、結構悩んでいるような姿だったけど、「Peace」を意味する「V」の形の手の絵を描いて「絵もいいのになぜ自分が下手だということか」と思った。

まだ、本格的に会話やインタビューをしたことがないので、初めての印象でワンさんのすべてのことを決めるのは難しい。何を質問したらいいか、何の話をし合ったらいいかを相手のことを気にしながらしないといけないと思う。

## 2. 特に聞きたいテーマ—趣味—

私がワンさんに特に聞きたいテーマは「趣味」だと考えた。その理由は散歩の結果物のことについて話から始まったと思う。あの「Peace」を意味する「V」の形の手の絵のことにワンさんに「絵を描くことが好きですか」聞いたとき、ワンさんは「昔から絵を描くことはあまり好きじゃなかったです」と答えた。この答えを受けて子供の時から何を好きだったか、今日本で楽しんでいることは何かについて話を続けた。ワンさんは子どものときから今までスポーツ、特にサッカーを好きだったといった。日本にいる今も友達と一緒に週末は公園（または体育館）でサッカーをするといった。スポーツほかにも何が好きなことがあるかに気が付くと、ワンさんのスマホのケースが目に入った。ワンピース。ワンピースのケースを見てアニメが好きかを聞いて、ワンさんは好きだといった。

私も趣味といえば、決まった答えのように「本を読んだり、散歩したりすることです。」と同じ言葉だった。なのに、私がこんなテーマとしてインタビューしてもいいかと悩んだけど、「趣味」というテーマを考えたから、相手のことだけわかって行こうだけではなく、私のことも「ああだったな、こうだったな」とちゃんと顧みながらテーマを進みたい。

## 3. 話し合いの結果

### 3. 1. 6月6日の話し合い

初めて聞きたいテーマを決めて本格的にワンさんと話し始めるようになった。教室は302教室で話をした。前まではあまり話したこともなかったお互いなので、静かな雰囲気だった。テーマが趣味だったからワンさんの好きなことを主に聞いた。5月のとき、話したことの中で主にサッカーのことが思い出してサッカーのことを聞いた。

週末のサッカーはひとつもり公園で、マレーシア人々と、ミッドフィールドの役割を、マレーシアのサッカーチームが好きで、日本に来て日本人または日本のチームがサッカーすることを見たことないけど、ぜひ見たいと彼は言った。サッカーは子供の時から好きになって、サッカーをした経験の中で一番印象に残ったことは高校のときサッカーをして骨折したことで、ゴールデンウィークにマレーシアの人々とのサッカーの試合を茨城県で、たくさんの方が参加し、1週間試合をしたと話してくれた。

初めて聞いたときは、私もワンさんもお互いのことを全然わからなくて（特に、私が）何を話すか悩んだし、ワンさんも私の質問をずっと待っているようだった。でも、6月6日の話ではその悩みはほとんどなくなった気がした。ワンさんも前より自分も関心があるし、話せるテーマができてもっと詳しく話してくれた。

私はその時、「初めて話したよりもっと上手くなった気がする。次回ももっと話せるかもしれない」といい気がした。今考えてみると、普通の私が初対面の人と話すのよりもっと上手に話したと思う。この前は初対面の人と話すのもあまり嫌がっていたし、不器用だったからいつも人と話すのも悩んでいた。なのに、6日のインタビューを通して、ちょっと発展した自分を見つけることができた。

### 3. 2. 6月20日の話し合い

2番目のインタビューではワンさんのサッカーの思い出についてインタビューをした。このインタビューは107教室で話した。サッカーの思い出がありますかと聞いてワンさんは最初ちょっと戸惑いそうな顔だった。でも、ちゃんと考えていろんな思い出を話してくれた。

主な話はワンさんの高校のとき、寮の人々と赤・黄色・緑・青チームになって毎年6月第1週目にサッカー試合をして、赤だったワンさんのチームが総合のランキング2位になったこと、寮の人々と今までも連絡をして、同じチーム（赤）に属されていた友達と寮は同じだったけど、授業は一緒ではなく、授業または運動会でもサッカーをしたけど、あまりやらなかった。赤チームになったきっかけは先生に選ばれたと話してくれた。

2番目は6日より話したいことがスムーズに進んでいった。ワンさんも思い出を覚えるのがちょっと大変そうだったが、前よりはもっと具体的に話してくれた。初めてのインタビューよりはちょっとリラックスな感じもした。

最後のインタビューだったが、私にとってはその相手を知るだけでなく、世界でたった一人のその相手のためのコミュニケーションをし、人と人との関係を潤す方法を習った

大切な時間だったと思う。

#### 4. まとめ

ワンさんにとって、そのテーマはワンさんの好きとはっきり言えるテーマではないかと思う。初めて趣味について聞いたとき、この人は何が好きか、何を聞いたらいいかなど、いろいろ悩んでいたけど、サッカーについてあまり知らなかった私が一所懸命サッカーのことを考えながら聞くと、ワンさんはもっと話してくれた。私はワンさんについて普通は静かな人だけど、サッカーについては明るくなる人だと思う。彼の考え方はよくわからないけど、サッカーの話（思い出など）を通して、特に、高校のときの寮でのサッカー試合や寮の友達と今まで連絡をしている話を聞いて友達のことが大切な人だと思った。そして、サッカーという分野についても関心ができるような気がした。

私は今までワンさんと話をして私があまり知らない、または、関心がない分野を持っている人でもその分野に関心をちょっとでも持って相手を知っていこうとするのが大事だとわかるようになった。

#### 5. 授業を終えて

##### 5. 1. 文化、コミュニケーションとは何か

文化とコミュニケーションは別々だと思われるかもしれないが、その関係は結構強いと思う。文化が自分の中に基づいてそれがベースになって発揮するのはコミュニケーションではないかと思う。文化は生まれてから習得していくのであるが、コミュニケーションは始めてから完璧にする人は誰もいない。なので、私たちは文化が同じ人と違う人と会いながら自分の文化を認識し、コミュニケーションということを習っていくと思う。

##### 5. 2. 授業について

この授業を通して相手を知る方法をわかるようになったと思う。いつも初対面の人と話すときは相手の目立つところしか考えられなかったけど、この授業を通して相手についての普通の質問だけで相手を知るのではなく、相手を持っている本音を聞かせようとする方法を習っていい経験だったと思う。